

# T高校における**共通テスト**情報 | 対応戦略 「**生徒アンケート**から見える**課題**と**可能性**」



2026年で100周年



東大寺学園中学校・高等学校  
情報科教諭 吉田 拓也  
yoshida.takuya@tdj.ac.jp



## はじめに



- **2022年1月**，「2025年国立大学入試に『情報Ⅰ』が追加される」というニュースが報じられ，**本当なのかと耳を疑った**が，ほどなくして情報科教育の状況が大きく変化していった。
- **2022年4月から**は，新しい教科書を用いて，「情報Ⅰ」の授業が始まり，本校では，高校1年および3年に1単位ずつの授業を実施した。終わってみれば，あっという間に2025年1月，大学入学共通テストを迎えたように感じる。
- **ただ，そのプロセスには，いくつもの試行錯誤があり**，それらをまとめるとともに，**最終授業にて生徒に実施したアンケートの結果**を紹介したい。

## 授業などの取り組み



- 本校では、情報科教員は1名であり、**同一教員が本授業を実施した。**





- 「第1章 情報社会の問題解決」，「第2章 コミュニケーションと情報デザイン」，「第3章 コンピュータとプログラミング」，「第4章 情報通信ネットワークとデータの活用」について，授業で扱った順番は，**1年次に1章，4章を学習し，3年次に3章，2章を学習した。**
- 教科書の登場順に扱わなかったおもな理由  
1章は，**「情報Ⅰ」の学習意義にもつながる視点多く**，生徒の学習意欲の向上にも強く関連すると考えたためである。
- 3章を3年次にまわした理由  
2022年の段階では，**プログラミングの学習範囲や難易度について，動向を見極めたく**，ある程度出揃った頃合いをイメージすると，3年次が一番適切であると考えたからである。



- おもに教科書と独自プリントが中心。  
やはり、生徒がまず見るのは、教科書であり、はずせない。授業進行はスライドを提示しながら、独自プリントで要点をまとめたり、世の中の事例を紹介するなどした。
- 2年次には、授業がないため、1年次の終わりにプログラミングに関する **Webアプリ** を紹介し、自学自習に充ててもらった。
- 3年次には、図1の用語集を配布。  
1年次の**学習内容の輪郭を掴みなお**したり、苦手生徒に対する支援を行った。総語数384語を各章に分けて掲載。問題集については、とある教科書会社の共通テスト対策問題集を注文して、**1学期の最終授業で配布**した。

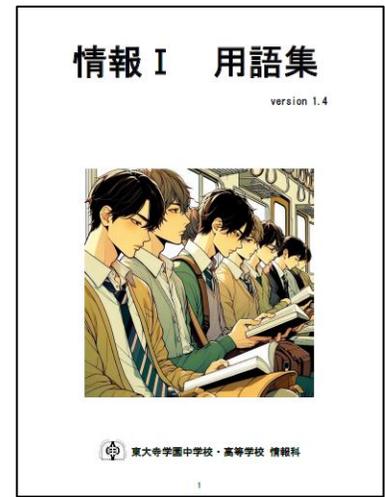


図1 用語集(2025年度版)



- 1年次は、即時確認・解説できるメリットを優先して授業内で実施するCBTを行っていた。
- 3年次では、授業時間確保や一般的なテスト形式に慣れるという観点から、他教科と同様の考查期間を利用して、1学期には期末考查30分(記述式)、2学期は、中間考查および期末考查50分(択一式)を実施。
- 返却時には、ポイント解説と必ず類題を用意して学習成果の定着を図るようにした。



- 3年次の夏休みおよび冬休みに**希望制**(参加者7割弱)110分×2回ずつ実施。
- 夏休みの補習では、おもに**1学期のプログラミングの復習**に加えて、1年次に実施した「第1章 情報社会の問題解決」に関する内容を取り扱った。
- 冬休みの補習では、各種模擬試験や試作問題等の傾向などに準じた問題を用意し、特に、プログラミングについては、情報関係基礎の過去問題を実施した。  
**2024 魔方陣**                      **2021 スゴロク**



### 3 アンケート結果について（択一式）

- 3年次の授業については、2学期で終わりとなるため、期末考査の返却時間(40分)に表1および表2のアンケートを実施した。

【あなたの1年間を取り組みなど】	回答数(%)
<b>1.授業に対して</b>	(n=182)
とても熱心に取り組めた	51(28.0)
まあ熱心に取り組めた	94(51.6)
あまり熱心に取り組めなかった	31(17.0)
まったく取り組めなかった	6(3.3)
<b>2.授業以外の勉強時間</b>	(n=183)
0時間(まったくしていない)	113(61.7)
30分未満	53(29.0)
30分～1時間	10(5.5)
1～2時間	7(3.8)



【あなたの1年間を取り組みなど】	回答数(%)
<b>3. 授業内容への理解度</b>	(n=182)
とてもよく理解できた	47(25.8)
まあ理解できた	96(52.7)
あまりわからなかった	32(17.6)
まったくわからなかった	7(3.8)
<b>4. 一番やりやすいと感じた分野</b>	(n=179)
情報社会の問題解決	41(22.9)
コミュニケーションと情報デザイン	14(7.8)
コンピュータとプログラミング	73(40.8)
情報通信ネットワークとデータの活用	16(8.9)
特になし	35(19.6)



【あなたの1年間を取り組みなど】	回答数(%)
<b>5. 一番難しいと感じた分野</b>	(n=177)
情報社会の問題解決	15(8.5)
コミュニケーションと情報デザイン	17(9.6)
<b>コンピュータとプログラミング</b>	63( <b>35.6</b> )
<b>情報通信ネットワークとデータの活用</b>	56( <b>31.6</b> )
特になし	26(14.7)
<b>6. 一番役に立つと感じた分野</b>	(n=180)
<b>情報社会の問題解決</b>	43( <b>23.9</b> )
コミュニケーションと情報デザイン	12(6.7)
<b>コンピュータとプログラミング</b>	55( <b>30.6</b> )
<b>情報通信ネットワークとデータの活用</b>	41( <b>22.8</b> )
特になし	29(16.1)



【あなたの1年間を取り組みなど】	回答数(%)
7.一番得点しやすいと思う分野	(n=179)
情報社会の問題解決	44(24.6)
コミュニケーションと情報デザイン	15(8.4)
コンピュータとプログラミング	79(44.1)
情報通信ネットワークとデータの活用	18(10.1)
特になし	23(12.8)



### 授業で役に立ったところ

- **いろいろな演習問題**をくれたおかげで身になりやすかったです。
- プログラミングを実際の**PCで体験**できたこと。
- 問題演習が適度にあった集中して取り組めた。
- なんやかんやで模試の点数が上がっていった。プログラミングが**ほぼ0点からほぼ満点まで**いったところ。
- あくまで**共通範囲内の情報**だけど授業内だけでとても面白く学習することができました。
- 実際にパソコンでプログラミング問題を解いたことで間違いも記憶に残りやすく、**はじめは苦手**だったが気づけば得意になっていた。
- ネットワークなどの細かい分野の**単語**を一連を通して勉強できた。
- **スクリーン授業が分かりやすく、説明もとても分かりやすく授業だけですべて理解**できた。

### 3 アンケート結果について（自由記述）



#### 授業で困ったところ

- ・ 単語を覚えるのが難しい。
- ・ 単語をもう少し砕いていただければ理解できないことが多いです。
- ・ わからない用語をわからない言葉で説明されても我々にはわからない。
- ・ 前提となる知識がなくて理解しにくいところがあった。
- ・ 略語が多く出るのでそれを整理できないとついていくのが難しい。
- ・ 授業スピードが早すぎて紙で追いつかない。
- ・ データ通信とかが概念過ぎてrealityがない。

### 3 アンケート結果について（自由記述）



#### 共通テストに向けて不安なところ

- 知識問題が課題となるので詰めていきたい。
- 問題のレベルが読めない。
- 知識問題の比重が大きいのが心配。
- 過去問がなく不安です。
- 模試と本番との差。

### 3 アンケート結果について（自由記述）



#### その他

- ・用語集に**索引**が欲しい。
- ・用語集は、各単語の間に**改行**があると読みやすくなると思いました。役立った。
- ・授業の雰囲気がよく楽しかったです。
- ・プログラミングは、中学のうちにちゃんとやっておいたほうがいい。
- ・共テ言語表記だけをやってほしい。
- ・多少正確性を排しても、説明で言い切っていただく方がありがたかったです。



- 生徒アンケートから成果と課題が浮き彫りとなった。
- さまざまな生徒からの意見については、しっかりと反映させて、授業内容(実習含)や用語集などについて、改良を加えていきたい。
- 試行錯誤はまだまだ続きそう。





● 本発表へのご意見、ご感想などは  
いただけますと幸いです。



● **富山県のみな様**

第73回富山県高等学校教育研究発表大会 情報部会でお会い  
しましょう。

令和7年11月5日（水） 13：30～16：30

富山県総合教育センター

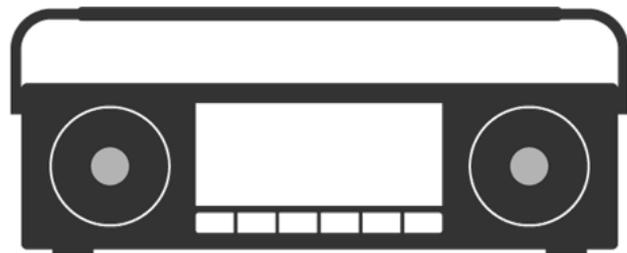


# JAEIS Podcast

日本情報科教育学会 情報科教育連携委員会 プレゼンツ

情報科教員による等身大の情報教育座談会

こちらどうぞ！



井手広康・鹿野利春・穴田浩一・稲垣俊介・小原格・鎌田高德・後藤貴裕・武善紀之  
橋本正隆・平田篤史・藤岡健史・古本知大・松島拓路・三輪理人・吉田拓也・川浪隆之